

あいである REPORT レポート NO.4

財団からメッセージ

児童養護施設退所後の見守り支援、アフターケアサポートとして、実家便®支援事業を行っています。また、子どもの自立に向けた準備としてお金の管理に関するレクチャー事業「マネークリップ」も行っています。



『実家便』活用の「声」をご紹介します!



～サーフサイドセヴン茅ヶ崎ファーム 吉見京子先生～

実家便にお世話になり3年を迎えました。大学3年生、2年生になる彼らは地方で寮生活、一人暮らしをしています。学業とサークル、アルバイトも両立させ、家賃を支払いながらの生活。ある時、「友達が実家から送ってもらってるのってやっぱりうらやましい」というメッセージが届いたことがありました



実家便支援の効果

実家便の「思い」をあらためて感じています。

回を重ねるごとに子どもたちのためにはもちろん、私たち職員のためにも意味があるということに気づきます。“どうしているかな”という気持ちが形になり、宅急便で荷物が届いた時、箱を開けた時にその手に伝わる何かがあることを想像すると私たちも幸せな気持ちになるのです。

実家の仕送りのように「もの」も「思い」も確かに子どもたちに届いております。そしてつながる機会もいただいていること。それらをご支援くださるすべての方々、あいであるの皆様、心より感謝を申し上げます。ありがとうございます。



インタビュー 『実家便』に、どのような感想・ご意見を持たれているのでしょうか?



ベトレム学園 金子 祐子 先生

実家便支援の効果

当施設では、アフターケア事業として実家便を利用させて頂いております。

退所者への配達物等の送料については施設の持ち出しとなりますので、送料までご負担いただく丁寧なご支援には、大変感謝しております。生活に余裕がない、困窮している卒園生はもちろんですが、そうでなくても実家便の存在に本当に助けられています。卒園生とのやり取りの中でも、「本当に助かる」「なくなったら困る」「次はいつ届く?」等の声があります。また、アフターケアとして、卒園生と直接かかわる職員は限られています。入所中は関わっていたのに、退所後あまり関わっていない職員もおります。そのような職員を中心にメッセージを書いてもらい、実家便と一緒に送って頂いています。そのことについても、卒園生に大変評判が良かったです。結婚して遠方に引っ越ししてしまった卒園生に、職員皆でお祝いメッセージを送る機会を頂いたことにも、心より感謝申し上げます。



あすなる学園 保蔵 幸美 先生

実家便支援の効果

当園では施設のアフターケア事業の一つとして実家便を利用しています。事前に実家便が届く旨を連絡してあるので、「届いたよ」と連絡が夫々にありとても嬉しそうに近況報告してくれます。子ども達が施設に来ることもありますが、年に数回程度であり、実家便を通して現状把握出来ることはとても良いことだと思います。

また施設を出て親からの支援も殆どない児童にとっても、色々な食材が入ったものが送られてくることにより、経済的にも助かっているようです。職員が改めて食生活などの話をするきっかけとなっています。更に今回のように災害用備蓄食品を入れてあることにより、実際に災害があった時には大切なことであり、日頃から少しでもそういったことを気に掛けることを話すきっかけとなりました。

社会に出てからも多くの方たちに支えられて育つ子ども達が、いつかは誰かを支える大人に成長してくれることを切に願っています。

セカンドハーベスト・ジャパン 様



セカンドハーベスト・ジャパンは、まだ十分に食べられるにもかかわらず様々な理由で廃棄される食品の寄付を受け入れ、児童養護・母子支援・障がい者支援等の福祉施設や生活困窮者などに提供する活動を行っている日本発のフードバンク団体です。

美家便支援にご賛同をいただき、協賛が始まりました。

資生堂社会福祉財団 様



児童福祉分野における研修事業や児童養護施設児童や里子のための奨学金事業等を行っている(公財)資生堂社会福祉事業財団様から協賛を頂戴しました。

自立に必要なスキルのひとつ「身だしなみ」の基本として清潔を保つことは大切です。シャンプーやリンスなどの日用品は、毎日使うものなので大容量のつめかえ用での協賛をお願いしました。



株式会社たらみ 様

CSR活動として、青少年、児童のスポーツ・文化活動団体にフルーツゼリーを応援価格で提供されています。デザートとして食べ応えのあるゼリーは美家便でも大好評であることをお伝えし、ご協賛いただきました。



施設を退所した子どもに映像でメッセージを送る「レターボックス」をホームページに設けました!

美家便支援は、支援期間を定めた支援です。

その期限である美家便支援を終えた後でも、職員の皆さんが子どもたちを思うお気持ちに変わりはないと思います。子どもたちにとっても、落ち込んだ時や、不安な気持ちが出てきたときに、素直な気持ちで状況を話せる人や、気分転換できるような状況が必要なことは、幾つになっても変わるものではありません。

子どもたちが、いつでも、好きなときに立ち寄り、ちょっと笑えてホッとできるコーナーとして、「レターボックス」を設置しました。

「レターボックス」の充実に向け努力して参りますので、皆様からの映像メッセージをお寄せいただけますようご協力をお願いいたします。

スマートフォンでメッセージを撮影していただき、そのデータを財団にお送りいただくだけです。詳しい手順などをご説明をいたしますので、財団事務局あてお問い合わせください。

映像メッセージ投稿は
スマホで撮って、
送信するだけ!

右のQRコードを読み取り、簡単アクセス!

ホームページの「レターボックス」コーナーをご覧ください。



活動の状況

支援実績のある
都道府県29(現状)

実績



財団法人あいであるの実家便™支援

実家便™を商標として登録しました。

実家便



公益財団法人
あいである

〒108-0014東京都港区芝5-5-1ラウンドクロス三田4F